



タイヤ産業プロジェクト・CEO会議開催について

2019年11月22日に京都で、世界を代表するタイヤメーカー11社の最高経営責任者(CEO)が、第8回目のタイヤ産業プロジェクト(Tire Industry Project:TIP)のCEO会議を開催致しました。これを受け、共同のリリースを纏めましたので、添付資料にてお知らせ致します。

参加企業（アルファベット順）

- ・株式会社ブリヂストン
- ・コンチネンタル エージー
- ・クーパー タイヤ アンド ラバー カンパニー
- ・ザ・グッドイヤー・タイヤ・アンド・ラバー・カンパニー
- ・ハンコック タイヤ シーオー エルティディ
- ・クムホ タイヤ カンパニー インク
- ・ミシュラングループ
- ・ピレリ アンド シー エスピーエー
- ・住友ゴム工業株式会社
- ・TOYO TIRE 株式会社
- ・横浜ゴム株式会社

添付資料（ニュースリリース）2枚

本件に関するお問合せ先

一般社団法人日本自動車タイヤ協会 総務部(広報・渉外担当) 畠中・高橋・大高
電話 03-3435-9095 FAX 03-3435-9097

以上



ニュースリリース

世界を代表するタイヤメーカーの CEO が持続可能性(サステナビリティ)に関する活動成果を確認

2019年11月22日、京都 – 世界を代表するタイヤメーカー11社の最高経営責任者(CEO)は、タイヤ産業プロジェクト(Tire Industry Project:TIP)のCEO会議において、TIPが取り組む持続可能性に関する活動の進捗・成果について確認しました。

TIPは、タイヤがそのライフサイクルを通じて、人間の健康と環境に与える潜在的な影響を研究することを目的に、2005年に世界を代表する主要なタイヤメーカーのCEOが主導して設立されました。TIPは、持続可能な開発のための世界経済人会議(World Business Council for Sustainable Development : WBCSD)の傘下にあり、ブリヂストン、グッドイヤー、ミシュランが共同代表を務めています。

世界のタイヤ生産能力のおよそ65%を占める主要タイヤメーカーのCEOが参画するCEO会議は、2年に一度開催され、CEOはTIPが推進する活動の進捗・成果を確認するとともに、その後2年間の活動計画を承認します。また、TIPの活動は、Assurance Groupと呼ばれる第三者の外部科学者グループによりレビューされています。

今回のCEO会議で確認された主な取り組みの進捗・成果は以下の通りです。

- 持続可能な天然ゴムのためのグローバルプラットフォーム(Global Platform for Sustainable Natural Rubber:GPSNR)設立**
GPSNRは、独立的なマルチステークホルダープラットフォームであり、天然ゴムのバリューチェーンにおける社会的・経済的・環境的パフォーマンスの改善を主導するために設立されました。
- タイヤと道路の摩擦により発生する摩耗粉塵(Tire and Road Wear Particles:TRWP)の潜在的な影響調査**
3つの主要都市(ロサンゼルス、ロンドンおよび東京)における大気中の微粒子(PM2.5)を調査した結果、TRWPが大気に及ぼす影響は軽微であることが示されました。
- 廃タイヤ(End-of-Life-Tires:ELT)管理とタイヤ製造に関する環境パフォーマンスの向上**
今回のCEO会議において、ELT管理に関するグローバルな知見をまとめた最新の報告書、並びにTIP参加企業の生産活動に関する主要な環境パフォーマンス指標を掲載する報告書の発行が承認されました。
- タイヤ製品カテゴリー規則(Product Category Rule:PCR)の発行**
PCRの発行により、タイヤのライフサイクルが環境に与える影響評価に関する標準化および透明性の向上に貢献しました。

また、今回のCEO会議では、2020年から2021年の活動計画として、主に以下の内容が承認されました。

- TRWPに関する大気、河川、土壤、河口等における拡大サンプリング調査、環境中での劣化、挙動に関するモデリング、生物への健康影響の詳細調査
- TIP参画企業の生産活動における環境パフォーマンス指標の継続的報告

3. ステークホルダーとの対話を通じた、効果的な ELT 管理
4. タイヤ原材料の研究開発活動を通じた、タイヤ原材料に用いられる化学物質の人体および環境への影響評価
5. タイヤのライフサイクルを通じたナノマテリアルの安全な開発と使用に関する経済協力開発機構(OECD)のガイドラインへの貢献
6. 持続可能性への取り組みの一環として、WBCSD の持続可能な開発目標(SDGs)への貢献に向け、タイヤ産業における SDG セクターロードマップの策定検討

お問い合わせ

Gavin Whitmore

Mobile: +41 79 880 57 29

whitmore@wbcisd.org

持続可能な開発のための世界経済人会議(WBCSD)について

WBCSD は、持続可能な世界への移行を促進するために 200 を超す主要な企業が共に活動する CEO 主導のグローバルな組織です。私たちは、株主、環境および社会への影響を最大限ポジティブにするために、加盟企業がより成功裏に持続可能になることをお手伝いします。加盟企業の収益および従業員を合算するとそれぞれ 8.5 兆ドル、1,900 万人を超える、すべてのビジネスセクターとすべての経済圏から集まっています。およそ 70 の国家レベルのビジネス組織と私たちとのグローバル・ネットワークは、加盟企業に対して世界に類を見ない広がりを提供します。WBCSD は、最も困難な持続可能性の問題に対して効果的なビジネス・ソリューションを提供するため、バリューチェーンに横断的に加盟企業が協力するという独自の立場を取っています。私たちは、2050 年までに地球上の 90 億人を超すすべての人々が幸せに暮らしていく持続可能な社会の実現に向けて邁進していきます。

詳細情報(英語): <http://www.wbcisd.org>

タイヤ産業プロジェクト(TIP)について

TIP は、タイヤがそのライフサイクルを通じて人間の健康と環境に与える潜在的な影響を研究することを目的に 2005 年設立されました。TIP 参加企業は、廃タイヤ(ELT)の管理、タイヤと道路の摩擦により発生する摩耗粉塵(TRWP)、持続可能な天然ゴムなど、持続可能な未来の実現に向けた課題の解決に取り組んでいます。

TIP(アルファベット順)の参加企業は次のとおりです。

- 株式会社ブリヂストン
- コンチネンタル エージー
- クーパー タイヤ アンドラバー カンパニー
- グッドイヤー・タイヤ・アンド・ラバー・カンパニー
- ハンコック タイヤ シーオー エルティディ
- クムホ タイヤ カンパニー インク
- ミシュラングループ
- ピレリ アンド シー エスピーエー
- 住友ゴム工業株式会社
- TOYO TIRE 株式会社
- 横浜ゴム株式会社

詳細情報(英語): <http://www.wbcisd.org/tip>